

事務事業評価シート(事後評価)

事業コード 9-3-2	事務事業名 違法駐車防止対策	所管部課 都市整備部 道路管理課
----------------	----------------	---------------------

施策コード 安1-1	施策名 住みやすい住環境の創造	施策目標 市民、事業者及び行政が協働し、計画的にまちづくりを進めることにより、住みやすい暮らしの空間を創ります。
---------------	--------------------	---

事務事業の概要	事務事業の目的 違法駐車等を防止することにより、道路が公共の施設として広く一般交通の用に供され、安全で快適な市民生活を確保することを目的とする。	根拠法令等 <input type="checkbox"/> 法律 <input checked="" type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容・実施方法等／補助の概要：補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等 ※該当する予算事業名・節目を明記する 西東京市違法駐車等の防止に関する条例に基づき、違法駐車等防止重点地域（田無駅周辺）において、警備会社に業務委託を行い、交通指導員を配置し、違法駐車等をしようとする者又は既にしている者に対し、所轄警察と相互協力し指導、助言、広報等の啓発活動を実施する。 (08.01.03.02違法駐車防止対策事業費)	
事業開始時期	平成12 年度	実施形態 <input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()

事業費データ	項目	単位	22年度	23年度	24年度	25年度
	事業費(A)		4,922	4,757	4,522	5,517
財源内訳	国庫支出金・都支出金	千円	0	0	0	0
	地方債		0	0	0	0
	その他()		0	0	0	0
	一般財源		4,922	4,757	4,522	5,517
所要人員(B)	人		0.1	0.1	0.1	0.1
人件費(C)=平均給与×(B)	千円		808	817	770	823
臨時職員賃金等(C')	千円		0	0	0	0
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円		5,730	5,574	5,292	6,340
単位当たりコスト (E)=(D)/(口頭指導件数)	千円		0	1	1	0

評価指標の設定	活動等指標	単位	22年度	23年度	24年度	25年度
	①口頭指導件数	実績値 件	15,136	8,333	7,327	
	②駐車禁止ステッカー貼付け	実績値 件	215	192	189	
《指標の説明・数値変化の理由など》						
平成21年度より、警察における取締強化及び交通指導員による啓発活動等の効果が出ている。						
評価指標の設定	成果指標	単位	22年度	23年度	24年度	25年度
	一 駐車禁止取締件数	目標値 件				
二 次	実績値 件					
三 次	目標値					
	実績値					
《指標の説明・数値変化の理由など》						
取締件数は、公表されていないため、数値の把握ができない。						

事業環境等	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	違法駐車により、周辺道路の渋滞を招き事故等の可能性が懸念されている。また、通行中の車両による横断歩道歩行中の歩行者への確認も遅れ危険である等の意見も寄せられている。					
	都内26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)	<input checked="" type="checkbox"/> 上 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下	当該事業を実施している市が少ないため、比較は難しい。				
	代替・類似サービスの有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	警察による取り締まり				

事業コード 9-3-2	事務事業名 違法駐車防止対策	所管部課 都市整備部 道路管理課
----------------	----------------	---------------------

施策コード	施策名	施策目標
安1-1	住みやすい住環境の創造	市民、事業者及び行政が協働し、計画的にまちづくりを進めることにより、住みやすい暮らしの空間を創ります。

【一次評価】

検証項目		ランク	一次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	市としては、違法駐車等を防止することにより、道路が公共施設として広く一般交通の用に供され、安全で快適な市民生活を確保する。 市においては、口頭指導、駐車禁止ステッカー貼付け等の啓発活動を実施し、警察においては、道路交通法に基づき、駐車違反の取締強化を行っている。 なお、市においては、取締権限及び罰則規制がないため、トラブルになる可能性がある。 また、平成21年度より、田無駅周辺において警察における駐車違反取締の強化を図っており、違法駐車は徐々に改善しつつある。
	事業の 必要性	3		
	事業主体の 妥当性	3		
B	直接のサービス の相手方	3	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	
	事業内容等の 適切さ	3		
	受益者負担の 適切さ	3		
C	市民ニーズの 把握	2		

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【二次評価】

検証項目		ランク	二次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	本事業は、田無駅周辺の違法駐車等防止重点地域における違法駐車等の防止を目的とした事業であるが、事業開始時と比較し、アスタ周辺の民間駐車場の充実や警察による取締りの強化のほか、本事業による交通指導員の指導等により、当初の目的は達成されつつある。 すでに、事業実施を土日祝日に縮小するなど見直しを行っているところであるが、今後も違法駐車等の状況を勘案しつつ、さらなる見直しを図られたい。
	事業の 必要性	2		
	事業主体の 妥当性	2		
B	直接のサービス の相手方	2	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	
	事業内容等の 適切さ	2		
	受益者負担の 適切さ	1		
C	市民ニーズの 把握	1		

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>本事業は、市民生活の安全性・利便性の向上を目指して、違法駐車に対する指導助言、啓発活動を行うものである。事業の成果については、口頭指導や駐車禁止ステッカーの貼り付け件数の減少に表れているところであるが、二次評価においても指摘のとおり、この間の民間駐車場の充実や、警察による取締りの強化など、複合的な取組の結果であると推察される。</p> <p>当初の目的が達成されつつある現状を鑑みると、過去に見直しを行った事業実施頻度について、さらなる見直しを検討するのみならず、警察をはじめとした関係機関との適切な役割分担の下、市として担うべき役割を精査し、これまでの取組によって得られた成果を失うことなく、コストの効率化を図ることのできる手法を検討されたい。</p>